

学校名	長野県諏訪実業高等学校
-----	-------------

平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

－「文化ビジネスエキスパート」グローアップ・カリキュラム－

地域の魅力や日本の感性をビジネスバリューにつなげ、世界に羽ばたく人材育成プログラムの研究

2. 研究の目的

- ・諏訪の伝統文化や伝統産業を理解し、「文化ビジネス」としてのアプローチ方法とビジネスチャンスを創出できる人材を育成することを目的とする。
- ・グローバルに「文化ビジネス」をプロデュースできる人材育成のため、1年次に「文化ビジネスコーディネーター」、2年次に「文化ビジネスディベロッパー」、3年次に「文化ビジネスプロデューサー」と段階的に発展させ、「文化ビジネスエキスパート」としての人材育成モデルを開発することを目的とする。

(1) 「文化ビジネスコーディネーター」育成（1年）

【育成人材】

「ビジネス」や「ファッションデザイン」の基礎知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業の魅力を深く理解し、人・モノ・企業を結びつけ課題解決の方策を具体的に提案できる人材を育成する。

【研究内容】

商業科と会計情報科の原則履修科目である「ビジネス基礎」、服飾科の専門科目である「ファッション造形基礎」「ファッションデザイン」、共通教科地理歴史科の科目である「地理 A」「地理 B」の中で、「伝統文化や伝統産業の魅力の理解」を扱い、諏訪の伝統産業（製糸、精密機械製造、観光、寒天、酒造、味噌等）や地域文化（諏訪大社、御柱祭、諏訪湖花火、温泉朝市、ガラス工芸、シルク工芸等）の魅力と価値について深く理解し、顧客に広く受け入れられる地域資源とするための具体的方策を考え、提案できる人材育成プログラムの研究、開発を行う。

(2) 「文化ビジネスディベロッパー」育成（2年）

【育成人材】

「ビジネス」と「ファッションデザイン」の知識と技術を生かし、地域の伝統産業や伝統文化の強みを生産物の価値を向上させるための「感性的価値」として付加した商品・サービス・ブランドを開発し、提供できる人材を育成する。

【研究内容】

商業科・会計情報科・服飾科の共通履修教科として2年次に学校設定教科「文化ビジネス（仮称）」とその学校設定科目として「文化ビジネス研究（仮称）」を設置する。その中で、服飾科の基礎知識を身に付けた服飾科の生徒と、商業科の基礎知識を身に付けた商業科・会計情報科の生徒が「文化ビジネスコーディネーター」（1年次）としての共通基盤に立脚し、「文化ビジネスプロジェクト」に関連する商品、サービス、イベントを協働して開発できる人材育成プログラムの研究、開発を行う。

（3）「文化ビジネスプロデューサー」育成（3年）

【育成人材】

地域資源に関わるビジネスバリューの創造を企画し、文化ビジネス戦略を展開し、グローバルにプロモーション活動のできる人材、新たにビジネスチャンスを生み出せる人材を育成する。

【研究内容】

「文化ビジネスディベロッパー」（2年次）としての基盤に立脚し、「諏実ショッパーズ」「キッズビジネスタウンすわ」「ファッションショー」「ファッションデザインコンクール」「NAGANOデザインフェスタ」等の「文化ビジネスプロジェクト」の企画・運営を通して「文化ビジネス」としてのアプローチ方法とビジネスチャンスを創出するための知識と能力を身に付け、グローバルに「文化ビジネス」をプロデュースするためのコミュニケーション力を活かして、海外と共同で商品・サービス・ブランドの開発・提供ができる人材育成プログラムの研究、開発を行う。

3. 実施期間

契約日から平成29年3月15日まで

4. 当該年度における実施計画

（1）「文化ビジネスコーディネーター」育成（1年）

商業科と会計情報科の原則履修科目である「ビジネス基礎」、服飾科の専門科目である「ファッション造形基礎」「ファッションデザイン」、共通教科地理歴史科の科目である「地理A」「地理B」に、新たな追加項目として「伝統文化や伝統産業の魅力の理解」を入れ、諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業の魅力を深く理解する。商業科と会計情報科の生徒にとっては、産業界の強みや服飾科の「ものづくり」を理解することで商品開発やマーケティングの知識・技術の学習に裏打ちされた深みが増し、服飾科の生徒にとっては、デザインの感性だけでなくマーケティングを学び、ビジネスとして成立する被服製作を行うことで、商品としての価値をより高める創造力を養う。

①身近であるが、詳しくは知らない諏訪地方の伝統文化と伝統産業について地元産業人の講義を受け、理解の深化と、新たな付加価値を探究する。（「ビジネス基礎」「ファッション造形基礎」「ファッションデザイン」で対応）

ア 地域商店街の現状を理解する。（2時間×4クラス）

講義「上諏訪駅前活性化に向けた取り組み」 講師 いずみや店主 宮坂友子氏

イ 諏訪地方の産業と観光の関わりについて学ぶ。（2時間×4クラス）

講義「諏訪地方の産業と観光」 講師 SUWAガラスの里 堀川しのぶ氏

- ウ 諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。(2時間×4クラス)
 講義「諏訪の文化と商品開発」 講師 スワデザイナーズユニオン 平林善雄氏
- エ 諏訪の伝統文化を学ぶ。(2時間×4クラス)
 講義「諏訪の信仰と諏訪大祭 御柱の歴史」 講師 八剣神社 宮司 宮坂清氏
- オ 諏訪地方の心を学ぶ。
 講義「諏訪伝統のおもてなし」 講師 RACO華乃井 社長 白鳥和美氏
- カ 地域商品の開発を学ぶ。(2時間×4クラス)
 講義「地域商品の開発」 講師 松本大学 白戸 洋氏
- キ 地域貢献のあり方を学ぶ。(2時間×4クラス)
 講義「キッズビジネスタウンの地域貢献」 講師 千葉商科大学 近藤真唯氏

〈評価方法〉

- ・講義受講前に、講義テーマに関する現在の考え方について記述式でアンケートをとる。
- ・講義受講後、考え方がどう変わったか記述式でアンケートをとる。
- ・ルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

- ② 先駆的な取り組みである、京都の伝統文化と伝統産業の魅力に新たな付加価値を持たせた同志社大学大学院ビジネス研究科 村山裕三教授の「京都型ビジネス」について講義を受け、諏訪地方に適応させる方策を考える。(2時間×4クラス 「地理A」「地理B」で対応)

- ・副教材として、村山裕三教授著『京都型ビジネス 独創と継続の経営術』を使用し、「伝統とテクノロジーを融合させる」「歴史資産から新たな価値を生み出す」の章を中心に学習し、諏訪の伝統文化や伝統産業から見出せる付加価値を探求させ、現代社会とのコーディネートについて学習する。

〈評価方法〉

- ・講義および授業の実施前に、京都の伝統文化と産業に関する知識について記述式でアンケートをとる。
- ・実施後、事前アンケートをもとに、京都の伝統文化と産業の結びつきについての考え方がどう変わったか記述式でアンケートをとる。
- ・ルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

- ③ 地元企業を20数社、学校に集めて「諏訪実ミニメッセ」を開催し、地域産業の現状を理解するとともに、地域産業の強みと新たな取り組みについて製品展示と説明を受け、製品製作等の体験を行う。(2時間 「ビジネス基礎」「ファッション造形基礎」「ファッションデザイン」で対応)

〈評価方法〉

- ・「諏訪実ミニメッセ」開催前に、自分が考えている地域の現状と地域産業の強み、自分が知っている新たな取り組みについて、記述式でアンケートをとる。
- ・「諏訪実ミニメッセ」体験後、新たな知識、地域産業の強みについての考え方がどう変わったか記述式でアンケートをとる。
- ・ルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

④ 諏訪の伝統文化や伝統産業の魅力を活かした「文化ビジネスプロジェクト」の企画作り。(LHRで対応)

ア 各科目で学習した諏訪の伝統文化や伝統産業の魅力から、新たな付加価値を見出し、生徒自身の感性をもとに「諏実ショッパーズ」「商品開発」「キッズビジネスタウンすわ」「ファッションショー」「ファッションデザインコンクール」「NAGANOデザインフェスタ」に対する、現代社会とのコーディネート企画を個々に起案する。

イ 商業科・会計情報科・服飾科生徒の混成による少人数グループ内の個人プレゼンテーション、ワークショップ等とおして、グループの企画案としてまとめ、提案のプレゼンテーションを行う。

〈評価方法〉

評価者（職員、各企画の3年責任生徒）に対してプレゼンテーションを行い、評価者が伝統文化の理解度、伝統文化と現代社会のコーディネート等の項目についてルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

⑤ プレゼンテーション能力を身に付けるため、商業科・会計情報科基礎科目「情報処理」、服飾科基礎科目「生活産業情報」にMicrosoft PowerPointの学習を取り入れる。

(2) 「文化ビジネスディベロッパー」育成（2年）

- ・ 来年度入学生の教育課程において、専門科目は現状のまま残し、2年次に2単位の学校設定教科「文化ビジネス（仮称）」と学校設定科目として「文化ビジネス研究（仮称）」を設置する。学校設定教科「文化ビジネス（仮称）」は、商業科と会計情報科と服飾科の共通履修とし、1年次の「文化ビジネスコーディネーター」としての企画案をもとに講座編成を検討し、講座ごとに3年次に実施する商業科と会計情報科の販売実習「諏実ショッパーズ」、小学生の社会体験事業「キッズビジネスタウンすわ」、「商品開発」、服飾科「ファッションショー」、「NAGANOデザインフェスタ」に向け、具体的な内容に対応した講師による講義を受けながら、諏訪の伝統文化や伝統産業から見出せる付加価値を探求し、現代社会とコーディネートさせた商品・サービス・イベントの企画・開発を行う。
- ・ 企画・開発された具体的な商品・サービス・イベントについてプレゼンテーションを行い、諏訪商工会議所の協力により、実現の可能性を含めてルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

① 学校設定教科「文化ビジネス（仮称）」設置後の基本講座

- ・ 1年次に「文化ビジネスコーディネーター」としてグループごとに企画した案を基準とし、講座編成をする。各講座は商業科・会計情報科・服飾科ミックスの編成（講座人数は16名を目処とし、10講座を予定）とする。
- ・ 学校設定科目「文化ビジネス研究（仮称）」には基本講座として、以下の講座を配置し、前年の「文化ビジネスコーディネーター」企画案に対応する講座を追加講座として設置する。

【予定講座1】 「商品開発とイベント企画」

実施内容

地域の産業界や団体と連携し、地域の魅力を発信できる商品の企画・開発を行い、地域は

もとより国内外に発信することで、地域文化を活かしたビジネスを開発できる人材を育成する。

ア 地域の人口動態や産業の変革について講義とフィールドワークによって理解を深める。

講義「中山道・下諏訪宿における人と物の流れ」 講師 下諏訪倉庫 三井章義氏

イ 現状や課題、改善策を学ぶ。

講義「観光と伝統文化の現状と課題」

「観光産業と各種イベントに関する実践事例」

「販売に関わる知識技能とイベント開催」

講師 SUWAガラスの里 堀川しのぶ氏

ウ 新商品の企画立案の参考として、韓国商品を韓国修学旅行に合わせて輸入し、韓国文化も意識した食品のコンセプトおよびパッケージを研究する。

商品開発助言者 下諏訪観光協会 河西正一氏

六花フードサービス 増沢健一氏

エ 着付けをとおして、伝統的な和装と和の心について理解を深める。

演習「ひとえ長着着付け」 講師 着付師 古田南方美氏

オ 文化継承と韓国文化を意識した新商品の企画を各種企業に提案し、開発する。

カ 開発商品の発表会を開催し、国内外に発信する。

演習「ファッションビジネス」

「企画・デザイン・展示・販売の流れ」

「コーディネート演習」

講師 岡学園トータルデザインアカデミー

ファッションマーケティング 越 将俊氏

ファッションコーディネート 寺島美佐子氏

キ 校内各種行事での実施計画を立案する。

【予定講座2】 「企業経営」

実施内容

経営理念をベースにした企業活動のあり方や実際を理解し、人材活用や資金運用、組織の管理や市場動向を研究することで、現在取り組んでいる模擬株式会社「S Jカンパニー」の経営を効果的かつ効率的に行える手法を開発できる人材を育成する。

ア 地元企業の経営理念の調査（フィールドワーク）

イ 企業経営者から学ぶ。

講義「企業設立に関わる手続きについて」

「企業経営者の経営理念の役割や設定」

「成果を上げるための組織作り」

「経営者として必要な資質とは」

「企業における人材管理」

「企業の資金運用について」

講師 株式会社かめや 古川博徳氏

ウ ミニインターンシップによる企業経営体験

エ 前年度までの模擬株式会社の経営に関わる検証

オ 模擬株式会社のこれからの経営計画を策定

【予定講座3】 「パッケージと広報活動」

実施内容

様々な商品パッケージを活用し、イメージ作りやメッセージの発信手段を研究する。また、販売や誘客に欠かせない広報活動について効果的な手法を研究し、校内イベント用に開発できる人材を育成する。

ア 様々な商品パッケージを取り上げ「色」使いについて研究を行い、パッケージ効果を学ぶ。

イ 商品に付加価値を付けられる商品パッケージのデザインを学ぶ。

講義「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」

講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏

ウ 効果的な広報活動を学ぶ。

講義「効果的な広報活動の実践例」

講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏

エ 地域をテーマとした広報誌の企画、作成

演習「ファッション画を学ぶ」 講師 杉野服飾大学助教 福地宏子氏

オ 学んだ効果的パッケージ、効果的広報活動をもとに、本校開催イベントのポスターやリーフレット等のデザインを考案し、作成する。

カ 同時開講の「商品開発」と連携して、開発した商品や製作した衣服等に付加価値を付けられるパッケージデザイン、広報活動を展開する。

キ 地域イベントや広報誌など、諏訪商工会議所や地元産業界と連携して、プロモーション活動を展開する。

【予定講座4】 「地域活性化」

実施内容

地域の歴史や現状の把握から、現在の課題を発見し、その課題の解決に向けた方策について研究を行い、具体的に実践することにより、校内イベントの活性化に向けた方策および当該年度の「文化ビジネスプロジェクト」のテーマを策定し開発できる人材を育成する。

ア 上諏訪駅前前の発展の経過と現状を地域産業の視点から捉え、課題を発見する。(フィールドワーク)

イ 上諏訪駅前商店街と地域産業が連携した実践例を学ぶ。

講義「地域産業の地域を巻き込んだ取り組み」

講師 宮坂醸造株式会社 宮坂公子氏

ウ 地域のイベント等のボランティアに参加し、地域の願い、住民の思いを感じ取る。

エ 実際の取り組みを参考に、発見した課題、地域の願い、住民の思いについて改善策や対応策を策定し、地域産業に提案する。

オ 地域産業が主催する観光イベントに参加し、観光事業のあり方、イベントの企画内容について学び、学習した視点から、本校主催で開催するイベントの問題点を洗い出し、改善策を検討、提案する。

【予定講座5】 「伝統工芸と現代工芸」

実施内容

地域の伝統文化や伝統産業を把握し、それらの現状や今後の課題、継承している人々の創造、工夫を理解することで、新しいビジネススタイルを創造、開発できる人材を育成する。

ア 「伝統文化」や「伝統産業」を視察し、地域の文化や産業を理解する。

視察 「駒ヶ根シルクミュージアム」「岡谷蚕糸博物館」「久保田織染工業」

イ 地域の伝統文化や伝統産業の現状と立場を調査、研究する。(フィールドワーク)

ウ 伝統を踏まえた新商品のアイデア・企画を立案し、地域産業に提案して、実際の新商品開発のあり方について学ぶ。

エ 地域の伝統文化を発信するための手段を考案し、地域産業と伝統文化継承者へ提案する。

【予定講座6】 「文化とサービス産業」

実施内容

ブライダル産業の視点から衣装や生活スタイルの変化と歴史的な意義を把握することで地域文化を理解し、現代の生活様式を快適にするための地域文化の取り入れ方を提案したり、新たなサービスのあり方を開発できる人材を育成する。

ア 諏訪地域の生活文化と生活様式について学び、生活の変化について理解する。

イ 諏訪地方の産業構造について学び、1次産業、2次産業、3次産業の動向や6次産業化の現状についてフィールドワークにより調査、理解する。

ウ ブライダル産業の現状と現代サービス産業の目標を理解する。

講義「諏訪地方のブライダルの変遷」 講師 ベルファイン橋場 河西克彦氏

エ ブライダル産業等へのミニインターンシップを実施し、現場のホスピタリティーを体験学習する。

オ 地域の伝統文化や伝統芸能を調査し、それを取り入れたドレス、企画、テーマ、料理等をブライダル等のサービス産業にモデルとして実演することによりトータルコーディネーターとして提案する。

演習 「ウォーキング講習会」 講師 b e ウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

カ 提案したブライダル等のトータルコーディネーターについて効果的広報活動を策定し、実践する。

キ ブライダル等のトータルコーディネーターの実践から、本校主催のファッションショーやファッションデザインコンクールの演出、デザインについて問題点を検証し、改善点や新たなアイデアを提案する。

【予定講座7】 「ICTを利用したグローバルなプロモーション戦略」

実施内容

韓国梅香女子情報高等学校と連携し、日本語、韓国語で「諏訪文化ビジネスプロジェクト」「地域の文化」「地域産業の紹介」「地域観光地の紹介」をコンテンツとしたホームページの立ち上げと、本校開発商品と地域産業、地域特産品、韓国輸入商品、全国高校開発商品のショッピングモールの開発を行う。

ア フィールドワークと講演により、諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業の魅力について深く理解させる。

イ ホームページで地域産業や公共団体と連携するために、協力企業や協力団体を、フィールドワークにより発掘する。

ウ 地域産業・地域文化・観光地のホームページを作成する。URLのQRコードを諏訪市

役所、商工会議所、JR各駅や観光案内所の各種パンフレットに掲載することを依頼する。

エ Google マップを利用し、諏訪地域の公知されていない観光地と見学できる伝統産業のマップを作成し、ホームページにリンクさせる。

オ 日本語のホームページ作成と並行して、韓国梅香女子情報高等学校とSNSのグループや「スカイプ」による合同会議等を実施してコミュニケーションを図り、韓国語のホームページを作成する。それぞれのホームページにノンバーバルコミュニケーションによるコンテンツを取り入れる。

カ ドロップショッピングによるインターネットショッピングモール「諏実ショッピングモール」を開発する。

地元商店・地元産業から協賛企業を募り、本校の地域産業との開発商品や国内高校の開発商品等のショッピングモールをドロップショッピングにより開発し、伝統産業製品や伝統文化商品等を販売することにより、地域産業の活性化を図る。

キ ホームページアクセス履歴と利用者アンケートにより情報収集を行い、分析結果をホームページの充実に反映させる。

② 本年度および来年度の対応について

- ・本年度および来年度については、学校設定教科が履修できないため、そこで実施予定の講義および1年次に実施予定の講義を、商業科、会計情報科、服飾科の各専門科目の指導内容に対応させながら取り入れ、「文化ビジネスディベロッパー」としての知識を身に付ける。
- ・学校設定科目「文化ビジネス研究（仮称）」設置後の基本講座の講義を2・3年の商業科・会計情報科専門科目と服飾科専門科目で対応し、「文化ビジネスディベロッパー」として諏訪の伝統文化や伝統産業から見出せる付加価値を探究し、現代社会とコーディネートさせた商品・サービス・イベントの企画開発を行う。
- ・本年度2年生は、伝統文化と伝統産業の魅力に新たな付加価値を持たせる村山裕三教授の「京都型ビジネス」について講義を未受講のため、効率的な体験と講義を実施するため、各科目内で小グループを編成し、各グループの代表者が、夏季休業を利用し同志社大学大学院で講義を受け、実際の「京都型ビジネス」企業を視察し、視察後のグループ学習で各グループ内へ講義内容と視察事項の伝達を行う。
- ・企画開発された具体的な商品・サービス・イベントについてプレゼンテーションを行い、諏訪商工会議所の協力により、実現の可能性を含めてルーブリック評価を実施し、定量的評価を行う。

〈本年度実施科目と実施内容〉

ア 商業科と会計情報科

(ア)「商品開発」

- ・諏訪地方の産業と観光の関わりについて学ぶ。

講義「諏訪地方の産業と観光」

「観光と伝統文化の現状と課題」

「観光産業と各種イベントに関する実践事例」

「販売に関わる知識技能とイベント開催」

講師 SUWAガラスの里 堀川しのぶ氏

- ・諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。

講義「諏訪の文化と商品開発」 講師 スワデザイナーズユニオン 平林善雄氏

- ・諏訪の伝統文化を学ぶ。

講義「諏訪の信仰と諏訪大祭 御柱の歴史」 講師 八剣神社 宮司 宮坂清氏

- ・諏訪地方の心を学ぶ。

講義「諏訪伝統のおもてなし」 講師 RACO華乃井 社長 白鳥和美氏

- ・新商品の企画立案の参考として、韓国商品を修学旅行に合わせて輸入し韓国文化を意識した食品のコンセプトおよびパッケージを研究する。

商品開発助言者 下諏訪観光協会 河西正一氏

六花フードサービス 増沢健一氏

(イ)「財務会計Ⅰ」

- ・企業経営者から学ぶ。

講義「企業経営者の経営理念の役割や設定」 講師 株式会社かめや 古川博徳氏

(ウ)「マーケティング」

- ・商品に付加価値を付けられる商品パッケージのデザインを学ぶ。

講義「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」

講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏

- ・効果的な広報活動を学ぶ。

講義「効果的な広報活動の実践例」 講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏

- ・上諏訪駅前商店街と地域産業が連携した実践例を学ぶ。

講義「地域産業の地域を巻き込んだ取り組み」 講師 宮坂醸造株式会社 宮坂公子氏

- ・ブライダル産業の現状と現代サービス産業の目標を理解する。

講義「諏訪地方のブライダルの変遷」 講師 ベルファイン橋場 河西克彦氏

- ・ブライダル等のトータルコーディネートについて効果的広報活動を策定し、実践する。

演習 「ウォーキング講習会」 講師 b e ウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

(エ)「電子商取引」

- ・韓国梅香女子情報高等学校と連携し、日本語、韓国語で「文化ビジネスプロジェクト」「地域の文化」「地域産業の紹介」「地域観光地の紹介」のホームページの立ち上げと、本校開発商品と地域産業、地域特産品、韓国輸入商品、全国高校開発商品のショッピングモールの開発を行う。

イ 服飾科

(ア)「生活産業基礎」

- ・諏訪地方の産業と観光の関わりについて学ぶ。

講義「諏訪地方の産業と観光」

「観光と伝統文化の現状と課題」

「観光産業と各種イベントに関する実践事例」

「販売に関わる知識技能とイベント開催」

講師 SUWAガラスの里 堀川しのぶ氏

- ・諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。
講義「諏訪の文化と商品開発」 講師 スワデザイナーズユニオン 平林善雄氏
- ・諏訪の伝統文化を学ぶ。
講義「諏訪の信仰と諏訪大祭 御柱の歴史」 講師 八剣神社 宮司 宮坂清氏

(イ)「服飾文化」

- ・諏訪地方の心を学ぶ。
講義「諏訪伝統のおもてなし」 講師 R A C O華乃井 社長 白鳥和美氏
- ・企業経営者から学ぶ。
講義「企業経営者の経営理念の役割や設定」 講師 株式会社かめや 古川博徳氏
- ・上諏訪駅前商店街と地域産業が連携した実践例を学ぶ。
講義「地域産業の地域を巻き込んだ取り組み」
講師 宮坂醸造株式会社 宮坂公子氏
- ・伝統文化や伝統産業という考え方を学び、地域の文化や産業を理解する。
視察 「駒ヶ根シルクミュージアム」「岡谷蚕糸博物館」「久保田織染工業」
- ・ブライダル産業の現状と現代サービス産業の目標を理解する。
講義「諏訪地方のブライダルの変遷」 講師 ベルファイン橋場 河西克彦氏
- ・ブライダル等のトータルコーディネートについて効果的広報活動を策定し、実践する。
演習 「ウォーキング講習会」 講師 b e ウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

(ウ)「ファッションデザイン」

- ・商品に付加価値を付けられる商品パッケージのデザインを学ぶ。
講義「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」
講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏
- ・効果的な広報活動を学ぶ。
講義「効果的な広報活動の実践例」 講師 有限会社クローバーデザイン 宮本総子氏

(エ)「CGデザイン」

- ・韓国梅香女子情報高等学校と連携し、日本語、韓国語で「文化ビジネスプロジェクト」「地域の文化」「地域産業の紹介」「地域観光地の紹介」のホームページの立ち上げと、本校開発商品と地域産業、地域特産品、韓国輸入商品、全国高校開発商品のショッピングモールの開発を行う。

ウ 両科共通

- ・「LHR等」
- ・少人数グループを構成し、生徒個々の商品開発・サービス開発を立案し、グループごとに個々の案について比較検討をしながら、グループとしての具体的な商品・サービス・イベントの企画開発とプレゼンテーションを行う。

(3)「文化ビジネスプロデューサー」育成（3年）

- ① 3年次、商業科目の「課題研究」を中心に取り組む「諏実ショッパーズ」の韓国商品仕入れ、販売打合せ、服飾科目の「課題研究」を中心に取り組む「ファッションショー」の被服共同デザイン、合同ファッションショーの企画打合せのために、本校生徒・職員による韓国梅香女子情報高等学校の視察および交流を行う。韓国文化と諏訪地域の伝統文化を意識した被服製作に

取り組み、韓国文化と諏訪地方の伝統文化を取り入れた「ファッションショー」を実施する。平成 26 年度より数回にわたり同校の生徒・職員が本校を訪問しており、距離や費用面からも密接な連携が可能であり、また、文化の類似性と相違性の両面から「文化ビジネス」についての深い交流が期待できる。伝統文化が現在社会にも色濃く残る韓国を肌で感じ、諏訪地域の伝統文化から付加価値を見出す契機とする。また、韓国は英語を母国語としない国であるため、英語でのコミュニケーションの垣根も比較的 low、ビジネス会話を通じた非ネイティブ英語によるコミュニケーション能力の向上にも取り組む。

② 必履修科目「コミュニケーション英語 I」を基礎科目として、英語のコミュニケーション能力の向上に努める。当該科目 1 年次学習の中で、生徒個々に目標設定を行わせて、個々の能力や目標に応じて、「全国商業高等学校協会英語検定 2 級、3 級、4 級」の取得を目指し、その中で Listening, Speaking, Reading, Writing の力を養成する。2 年次「コミュニケーション英語 II」ではさらなるレベルアップを目指す。3 年次には既存の学校設定科目である「イングリッシュアライブ B」で「スカイプ」等を取り入れた電子会議を実施することにより、目標達成のために必要なコミュニケーション能力の育成を図る。

③ 伝統文化の感性的価値を付加した作品製作とプレゼンテーション活動のため、専門科目内で以下のような「文化ビジネスプロジェクト」に関する取り組みを行う。

ア 「ファッションショー」

(ア) 「ファッション造形」

・演習「浴衣着付け講習会」 講師 着付師 古田南方美氏

(イ) 「ファッションビジネス演習」

・演習「企画・デザイン・展示・販売の流れ」

講師 岡学園トータルデザインアカデミー
ファッションマーケティング 越 将俊氏

・演習「コーディネート演習」

講師 岡学園トータルデザインアカデミー
ファッションコーディネート 寺島美佐子氏

(ウ) 「課題研究」

・演習「ウォーキング講習会」 講師 b e ウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

・講義「照明・舞台演出講習会」 講師 エムプランニング 真島邦昭氏

イ 「ファッションデザインコンクール」

(ア) 「服飾文化」

・演習「色彩検定対策講座」 講師 A F T 認定講師 河合由夏氏

ウ 「NAGANO デザインフェスタ」

(ア) 「生活産業基礎」

・視察 日暮里繊維街・素材リサーチ

(イ) 「ファッション造形」

・視察 駒ヶ根シルクミュージアム

・実技演習 久保田織染工業 (染色)

(ウ) 「ファッションデザイン」

- ・演習「デザイン画講座」 講師 杉野服飾大学助教 福地宏子氏
- ・視察 岡学園トータルデザインアカデミー学生制作作品展見学

(4) 教員の専門性の強化

生徒の能力開発を相乗的に伸長させるために、商業科・会計情報科と服飾科の教員の専門性向上が不可欠である。さらに、地域産業や伝統文化を理解し、それを専門分野のプロダクツに生かす研修を継続的に実施する。連携先の松本大学での「マーケティング塾」に商業科・会計情報科・服飾科の複数の教員が参加するとともに、同志社大学大学院の講義、京都型ビジネスの視察を計画的に実施する。

(5) S P Hプログラムにおける評価方法

- ・講演等の実施前と実施後にアンケートを実施し、生徒の思考の変化等から事業の効果を測定する。(定性的評価)
- ・広く一般に公開する「誼実ショッパーズ」「ファッションショー」等において、外部関係者(来場者・参加者・保護者)にアンケートを実施し、生徒の意識の変化等から事業の効果を測定する。(定性的評価)
- ・本事業を各教科の項目として扱うため、定性的評価だけではなく、ルーブリック評価を取り入れ、本事業にあった評価項目の策定を進めていく。評価項目については学年や事業内容によって決定する。同一学年は、定量的評価が平均するよう評価項目を策定する。ルーブリック評価実施ごとに評価項目について検討する。評価項目の検討を通じて、事業の細部まで具体的・徹底的に見直し、新たな事業としてデザインをしていくことで、P D C Aサイクルによるカリキュラムマネジメントを行う。(定量的評価)

(6) 研究成果の普及

県教育委員会主催の研修会、誼訪実業高等学校で開催する研究成果発表会、その他に全国規模での研修会、北信越地区での研究大会等において、取組の成果を発表し、研究成果の普及に努める。

5. 実施体制

(1) 研究担当者

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
薄井 康央	校 長	全体統括・対外連絡・折衝
河野 健一	教 頭	対外連絡・折衝・委員会設置運営・高大連携・海外高校連携担当
小平 紀文	教 諭	誼実ショッパーズ運営・商品開発・高大連携担当・誼訪実ミニメッセ担当・学校設定教科・商業
三宅 浩一	教 諭	誼実ショッパーズ運営担当・海外高校連携担当・商業
吉岡 和久	教 諭	キッズビジネスタウンすわ運営・商品開発担当・商業
中澤 深二	教 諭	誼実ショッパーズ運営・高大連携・海外高校連携担当・

		商業
和田 崇	教 諭 (商業科主任)	学校設定教科・諏実ショッピング運営・商業科通信担当 ・商業
小口祐希枝	教 諭	キッズビジネスタウンすわ運営・商品開発担当・学校設定教科・商業
中野 篤男	教 諭	諏実ショッピング設立運営・企業連携・商品開発担当・商業
林 大輔	教 諭	諏実ショッピング運営・高大連携担当・商業
松田 健一	教 諭	諏実ショッピング運営・企業連携・商品開発・ビジネスプレゼンテーション担当・商業
池上 哲	教 諭	諏実ショッピング運営担当・海外高校連携・商業
倉田 愛美	教 諭	諏実ショッピング運営・海外高校連携担当・商業
原山 直也	教 諭	学校設定教科・キッズビジネスタウンすわ担当・商業
井上 貴子	実習助手	諏実ショッピング運営・企業連携・商品開発担当・商業
横井秀太郎	教 諭 (服飾科主任)	ファッションショー・諏訪市ものづくり教育・「ともそだち教室」・学校設定教科担当・家庭
五味 仁美	教 諭	ファッションショー・NAGANOデザインフェスタ担当・家庭
山田 佐江	教 諭	学校設定教科・ファッションショー・クラフトスタジオ担当・家庭
唐澤美沙紀	教 諭	学校設定教科・ファッションショー・ファッションデザインコンクール担当・家庭
有賀 弘子	講 師	学校設定教科・ファッションショー担当・家庭
小松 秀子	講 師	ファッションショー・ファッションデザインコンクール ・会計担当・家庭

(2) 研究推進委員会

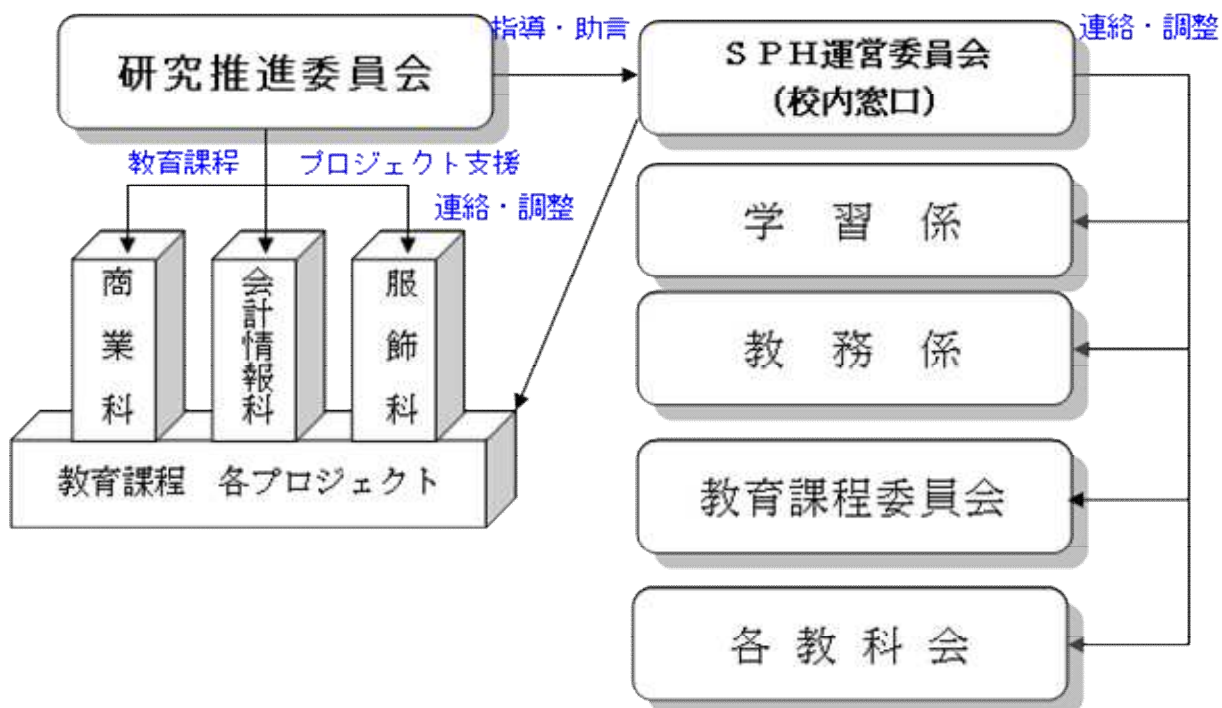
氏 名	所属・職名	役割・専門分野等
大舘 道彦	諏訪市経済部商工課長	指導・助言
小口 武男	諏訪商工会議所副会頭 高島産業(株)代表取締役社長	指導・助言
村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科教授	指導・助言
白戸 洋	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授	指導・助言
奥原 正夫	諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科教授	指導・助言
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー校長	指導・助言
薄井 康央	諏訪実業高等学校長	全体統括
河野 健一	諏訪実業高等学校教頭	対外折衝・校内調整
和田 崇	諏訪実業高等学校教諭 (商業科主任)	商業科教育課程
横井秀太郎	諏訪実業高等学校教諭 (服飾科主任)	服飾科教育課程

奥村 達朗	諏訪実業高等学校教諭（学習係長・教育課程委員長）	普通科・専門科教育課程の調整・事務全般
-------	--------------------------	---------------------

(3) 運営指導委員会

氏名	職名	役割分担・専門分野等
山浦 悦子	ハイブリッド・ジャパン株式会社 代表取締役	地域産業・ものづくり経営に係る指導・助言
藤田 智之	信州大学 農学部長	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、農学研究
山添 昌彦	松本大学松商短期大学部副学長・松商短期大学部長・教授	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、経営学、地域学。PBL研究
吉澤 猛	長野県観光部長	観光推進、地域連携、6次産業の在り方、観光振興、ブランド
原山 隆一	長野県教育長	委員長、委員会の総括・教育行政

(4) 校内における体制図



6. 研究内容実施時期

研究内容	学科・学年・科目	実施時期												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
文化ビジネスコーディネータ育成	全学科1学年 商業科・会計情報科 「ビジネス基礎」 服飾科普通科目 「家庭総合」 両科普通科目 「地理A」 「地理B」				講義 「上諏訪 駅前活性化 に向けた取組 み」 講義 「諏訪地方 の産業と 観光」	講義 「諏訪の文 化と商品 開発」 講義 「京都型ビ ジネス」	講義 「諏訪の信 仰と諏訪 大祭御柱 の歴史」 講義 「諏訪伝 統のおも てなし」	講義 「地域商 品の開発」	講義 「キッズビ ジネスタウ ンの地域 貢献」	「諏訪実ミ ニメッセ」	企画立案 案		個人プレゼン テーション ワークショップ (LHR)	プレゼン 評価 (LHR)
	1年 商業科・会計情報科 「情報処理」 服飾科 「生活産業情報」				Power Point入門								プレゼン 資料作成	プレゼン
文化ビジネスディベロ パー育成	商業科・会計情報科 2年 「商品開発」				諏訪地方 の産業と 観光を学 ぶ	商品と現 状を学 ぶ	諏訪の伝 統文化を 学 ぶ	諏訪地方 の心を学 ぶ	新商品の企画立案				グル ープ学 習(LHR)	プレ ゼンテ ーシ ョン (LHR)
	商業科・会計情報科 2年 「財務会計Ⅰ」				企業経営 者から学 ぶ									
	商業科・会計情報科 2年 「マーケティング」				パッケージ デザインを 学 ぶ	効果的な 広報活動 を学 ぶ	地元企業 の実践例 を学 ぶ	現代サー ビス産業 を理 解する	効果的な広報活動の策定					
	商業科・会計情報科 2年 「電子商取引」				プロジェクトホームページ立ち上げとショッピングモールの開発									
	服飾科 2年 「生活産業基礎」				諏訪地方 の産業と 観光を学 ぶ		商品と現 状を学 ぶ		諏訪地方 の伝統文 化を学 ぶ					
	服飾科 2年 「服飾文化」				伝統文化 伝統産業 視察	諏訪地方 の心を学 ぶ	企業経営 者から学 ぶ	地元企業 の実践例 を学 ぶ	講義「諏 訪地方の プライダ ルの変遷」	演習 「ウォー キング 講習会」				
	服飾科 2年 「ファッションデザイン」						パッケージ デザインを 学 ぶ					効果的な 広報活動 を学 ぶ		
服飾科 2年 「CGデザイン」				プロジェクトホームページ立ち上げとショッピングモールの開発										
文化ビジネスプロ デュ ーサ ー育 成	商業科・会計情報科 3年 「課題研究」			韓国ホ ームステ イ受け 入れ		韓国視察				諏訪ショ ッパ ー ズ・キ ッ スビ ジ ネ ス タ ウ ン す わ	研究成果 発表会			
	服飾科 3年 「課題研究」				ファッ シ ョ ン シ ョ ー				演習 「ウォ ー キ ン グ 講 習 会」	講義「照 明・舞 台 演 出」	研究成果 発表会 ファッ シ ョ ン シ ョ ー	NAGAN O デ ザ イ ン フ ェ ス タ		
	「キッズビジネスタウンすわ」 「ファッションショー」 「ファッションデザインコン クール」					視察駒ヶ 根シ ルク ミ エ ジ ャ ム 演 習 久 保 田 織 染	演習「浴 衣着付 け講 習 会」	演習「企 画・展 示・販 売の 流れ」	演習「コ ー デ イ ネ ー ト 演 習」					
	「NAGANOデザインフェス タ」							視察日 暮 里 織 維 街	演習「色 彩検 定 対 策 講 座」					
	服飾科 1年 「ファッションデザイン」				演習「デ ザ イ ン 画 講 座」								岡学園 作 品 展 視 察	
英語コミュニケーション 能力の向上	全学科 1年 「コミュニケーション英語Ⅰ」 2年 「コミュニケーション英語Ⅱ」				全商英検2級・3級・4級の受験に向けた指導									
	全学科 3年 「イングリッシュアライブB」										スカイプ等による電子会議			

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし				

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有 (無)

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載